



H20. 4. 4 No1247
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 下田市漁協青壮年部田牛支部が農林水産大臣賞に輝く！

去る3月5・6日の両日、東京・虎ノ門パストラルにおいて、全国の青年・女性漁業者等約500人が参加のもと、第13回全国青年・女性漁業者交流大会が盛大に開催されました。

当日は、全国から46の研究実践グループが参加し、5つの分科会（1. 資源管理・資源増殖部門 2. 漁業経営改善部門 3. 流通・消費拡大部門 4. 地域活性化部門 5. 多面的機能・環境保全部門）に分かれ、浜の活性化を目指した研究成果や実践活動を発表しました。

本県からは、稲取漁協女性部（発表者：鈴木國江氏）が、第4分科会で「魚食普及を通じて地域の活性化を」と題して、下田市漁協青壮年部田牛支部（発表者：渡辺忠相氏）が、第5分科会で「ブダイを漁獲してカジメの復活を目指す」と題して参加し、取り組み内容を発表しました。

その結果、下田市漁協青壮年部田牛支部が、「磯焼けの原因となるブダイを商品として漁獲し、加工も手掛けるなど経営にもプラスになる方法で、イセエビやアワビの餌として重要なカジメ場を増やす工夫はすばらしい」と高く評価され、多面的機能・環境保全部門において、農林水産大臣賞を受賞しました。

そして、稲取漁協女性部は、食育やボランティア活動を通じた食育普及活動が評価され、全漁連会長賞を受賞しました。

2. 県下漁協女性部員が一堂に集まる

－ J F 静岡女性連 －

県漁協女性部連合会（会長理事：津島幸子稲取漁協女性部長）では、3月14日静岡市・県男女共同参画センター（あざれあ）において、県下漁協女性部員等170人が参加のもと、第51回県漁協女性部大会を開催しました。

当日は、津島会長から主催者挨拶の後、来賓の本会西川会長、信漁連宮原会長並びに県水産産業局坂局長から夫々祝辞が述べられました。

続いて、NPO法人くんま夢未来の大平展子副理事長から「かあさんが支えるふるさとの夢と未来～くんまの新しい挑戦～」と題して記念講演が行われました。

講演の後、静岡漁協女性部の大川千里さんが、「自らの組織基盤を強化するとともに、漁協のパートナー組織として、豊かで活力ある地域づくりに向けて、一致協力して活動を展開する」旨の大会宣言を読み上げ、満場一致で採択されました。

また、稲取漁協女性部の鈴木國江さんが、県及び全国青年・女性漁業者交流大会で発表した、「魚食普及を通じて地域の活性化を」の取り組みを改めて発表しました。

最後に、毎年恒例となっているアトラクションでは、各地区漁協女性部員が、踊りやハンドベルの演奏などの11の演目を披露し、有意義な一時を過ごすとともに部員相互の親睦を深めました。

3. 密漁防止講習会を開催、アサリ漁業等が知事許可漁業へ

本会、浜名漁協及び県水産資源室では、3月18日浜名漁協において、アサリ採貝組合員な

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

ど約90名の出席のもと、密漁防止研修会を開催しました。

研修会では、県水産資源室の町田益己専門監から、漁業法、水産資源保護法の改正にともなう県漁業調整規則の一部改正により、アサリ漁業、シラスウナギ漁業、潜水器漁業が知事許可漁業へ移行となることや罰則が最大3年、200万円へ強化されることなどの説明がありました。

また、漁村振興コンサルタント（全漁連密漁防止等推進委員）の田中克哲氏から、立て看板の設置や漁場監視などの密漁防止のための対策、悪質と思われる密漁者やそうでない場合、また、レジャー客への対応方法などについて映像を交えて分かりやすい説明がありました。

今後、漁協、採貝組合等では、随時、アサリ密漁を防止するパトロールを行うとともに、県水産資源室等の指導を得て、一般レジャー客などに県漁業調整規則等に違反する行為について普及啓発することとしています。

4. 第85回漁協新職員研修会を開催する

本会では、3月24・25日の両日、県水産会館において、漁協新職員研修会を開催しました。これは、社会人の一般的マナーを学ぶとともに、漁協職員としての自覚を高め、その職務に対する基礎知識の習得を目的に開催したもので、県下5漁協及び県信漁連等から19人の参加がありました。

初日は、本会担当者から「漁協組織の現状と漁協職員の心構えについて」、河尻指導担当参事から「静岡県の水産業について」の講義が行われ、引き続き、県信漁連川村総務部長から「信用事業について」、共水連静岡小林次長代理から「共済事業について」などの系統団体の事業の紹介が行われました。

二日目は、NTT西日本-静岡の石川幸子氏を講師に迎え、新社会人としての接客、電話対応等のビジネスマナーを熱心に研修しました。

研修後のアンケートでは、「即戦力として頑張りたい」、「学んだことを日々の業務に活かしたい」、「新卒者と中途採用者を分けて研修したらどうか」などの意見が聞かれました。

5. 本会人事異動のお知らせ

本会では次のとおり職員の人事異動を発令しました。（カッコ内は旧役職）

◇異動 4月1日付▽指導担当参事 河尻正博(同担当参事兼指導部長)▽指導部長代理兼漁協合併推進室長 森 幸裕(同部次長兼同室長)▽販売部次長兼同課長・同部長事務取扱 西野朝善(焼津事業所販売課長)▽賀茂出張所長・漁協合併推進役 平尾敬義(同所長)▽焼津事業所販売課長心得 上嶋永昭(同販売課主任)▽同事業所販売課主任 安本登志勝(漁政課漁政担当主任)▽沼津港湾事務所主任 村松 豊(同事務所販売担当主任)▽指導部漁政課主任 高橋賢樹(同課漁政担当主任)▽温水利用研究センター沼津分場主任 石神一雄(同分場生産担当主任)▽温水利用研究センター生産担当主任 砂子 剛(同センター)▽同センター生産担当主任 佐竹顕一(同センター)▽沼津事業所販売担当主任 牛島秀和(賀茂出張所)▽沼津事業所二枚貝担当主任 藤沢俊也(沼津事業所)▽購買部石油課兼資材課 大石 衛(焼津事業所販売課)▽販売部販売課 森下 謙(焼津事業所販売課)▽沼津事業所 田中 守(賀茂出張所)▽指導部漁政課 鈴木健介(購買部石油課兼資材課)

◇嘱託採用 4月1日付▽指導部長 村松高明▽経理課 山田真起子▽総務課 小久保暢子

◇退職 3月31日付▽平井 亨(温水利用研究センター技術顧問)▽佐藤 穂(賀茂出張所)

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう